

幅広い年齢・職業の方とお話できる機会があるので、視野が広がりプラスになります！



佐藤 遥香さん

3年次編入学 4月生

宮城県

年代：20歳代(取材時)

職業：保育教諭



— 入学のきっかけは？

保育教諭として働いていくなかで、様々な子ども達との出会いから個別支援が重要だと気づきました。将来、小規模の児童発達支援事業所で地域の保育所等と連携しつつ子ども達を支えたいと考えるようになり、その子どもや保護者に対して心理的支援が必要だと感じたことが、福祉心理学科への入学動機でした。

— 入学後に大変だったことは？

入学時には履修モデルを基に履修登録を行いました。いつのスクーリングを受講するか、また一部のスクーリングでは受講にあたり事前に学習すべき要件があったりして、自分自身で学習計画を組み立てることに苦労しました。

— 学習を工夫して乗り越えたことは？

科目修了試験は試験範囲も広くて勉強に苦労しました。そんな時、大学で勉強していることを伝えていた友人とSNSでやり取りする中で支えてもらい、勇気づけられたことでモチベーションを維持できました。誰かに認めてもらえることは重要なのだと思いました。

— 入学してよかったと感じていることは？

幅広い年齢層、職業の方とお話する機会が得られる

ことは、自分の視野が広がりプラスになっていると思います。また、現在学習している内容で幼児教育とつながる部分があり、就職前に学んでいた内容であっても、職に就いて経験してから改めて学ぶことで、知識が知恵になったと実感しています。

— 「心理学実験」スクーリングを受講しての感想は？

スクーリング受講前は、「いったい何を実験するのだろう、何が始まるのだろう」と思っていたのですが、その実験の目的が理解できると心理学の科学的な側面を体験的に学ぶことができ面白く感じました。

— 入学してから今までで印象に残っていることは？

スクーリングのグループワークで自己紹介を行った際、他の方が様々な目的や動機で通信教育部に入学したことを知りました。通学制の高校や大学では方向性の似た学生が集まりますが、異なる経験や視点を持った学生が集まる通信教育部だからこそ貴重な出会いがあるのだと思います。



スクーリングで他の学生や先生・事務局の方々の熱意に触れ、学びに真摯に向き合えました。



遠藤 裕治さん

1年次入学 4月生

宮城県

年代：50歳代(取材時) 卒業：2023年3月

職業：工業製品卸売業・営業職



— 入学の動機、入学前と卒業後の意識の変化、今後の目標などについてお聞かせください。

パワハラする人は、なぜ自分の問題行動に気づかないのか？知りたくて福祉心理学科に入学しました。心理学を学んでみると、入学前は人の行動の一部を見ていた事に気づき、卒業する頃には、客観的に人の行動を人生全体で見ることができるようになりました。今後はキャリアコンサルタント等の資格を取って身近な人の問題解決を支援したいと思います。

— 在学中の学びで印象に残ったことや、苦勞したエピソードをお聞かせください。

入学当時レポート作成に時間が掛かりましたが、勉強の仕方を工夫したり、問題や先生のアドバイスをよく読んでレポート作成をしていると4年目の頃には自分

の理解が足りないところがわかるのでレポートの書き出しで止まることが無くなりました。最初は上手くできなくても、数をこなすことで出来るようになることをレポートを通して体験できました。

— その他、印象に残ったエピソード、入学希望者に届けたい言葉などをお聞かせください。

スクーリングでキャンパスに行くと、学びに来る学生の熱気(休憩時間もめっちゃくちゃ質問してる人など)を感じ、真摯に勉強へ向き合えたと思います。機会があればスクーリングへの参加をお勧めします。また、東北福祉大学の先生や事務局の方々は熱意がある人が多いので、勉強に疑問を感じたら質問するといろんな答えが返ってくると思います。

卒業年度の学習状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| レポート | | ■ | | | ■ | | ■ | | | | | |
| スクーリング | | ■ | | | | | | | | | ■ | |
| 卒業研究 | ■ | | | | | | | | | | | ■ |
| | | | | | | | | | | | | 卒業 |
| | | | | | | | | | | | | 合格 |